

水膨潤ブチル系止水材

キッスシーラー[®]W

NETIS登録番号:CG-100011-VE

止水性に優れる
ダブル止水!!

- 生コン接着による止水
- 水膨潤による止水

キッスシーラーWは、未加硫ブチルゴムと飽和高分子化合物で、活性化樹脂を主成分とする柔軟性を有する成形止水材です。

既設コンクリートに新設コンクリートを打ち継ぐ際、生コンクリートとの接着性及び接触する水による膨潤性を兼ね備えているため、高い止水性を発揮します。

特長



施工が簡単

被着体に押し付けて貼り、釘止めするのみ。



接続が簡単

斜め切断した端部を突き合わせて圧着するのみ。



耐候性に優れる

ブチルゴムと飽和高分子化合物を成分としているため、紫外線等に対して安定。



優れた止水性 (ダブル止水)

キッスシーラーW中の活性基(カルボキシル基)と生コンクリート中の金属酸化物が化学反応を起こして接着止水。

水に接触すると徐々に膨潤し始め、水みちの隙間を充填して止水。



▲設置例

一般物性

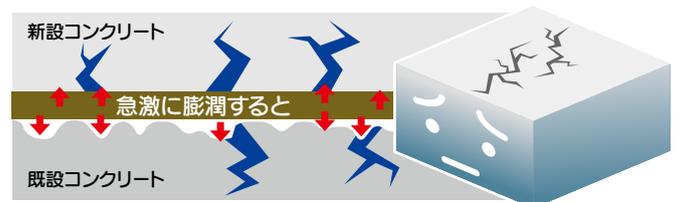
| 項目 | 単位 | 規格値* |
|--------------|-------------------|-----------|
| 密度 | g/cm ³ | 1.10±0.05 |
| 不揮発分 | % | 99以上 |
| 針入度 | mm | 8±1 |
| 抗張力 | N/mm ² | 0.10以上 |
| 伸び | % | 800以上 |
| 生コンクリートとの接着性 | N/mm ² | 0.04以上 |
| 体積膨潤増加率 | % | 45±15 |

※アオイ化学工業(株)社内規格

用途

- コンクリート～コンクリート打継ぎ部
- H鋼～コンクリート打継ぎ部
- 貫通管～コンクリート打継ぎ部

既存の製品は…

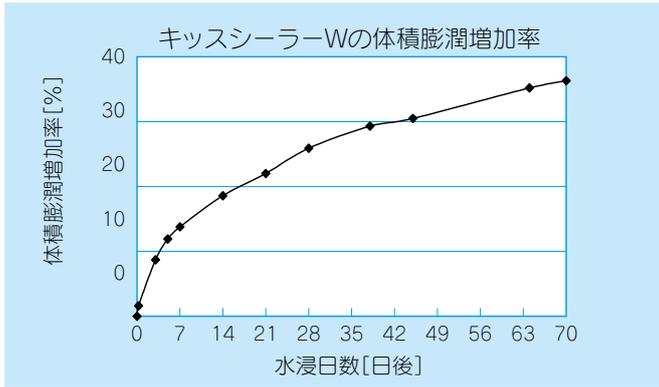


キッスシーラーWは…



試験データ

①膨潤データ



体積膨潤増加率

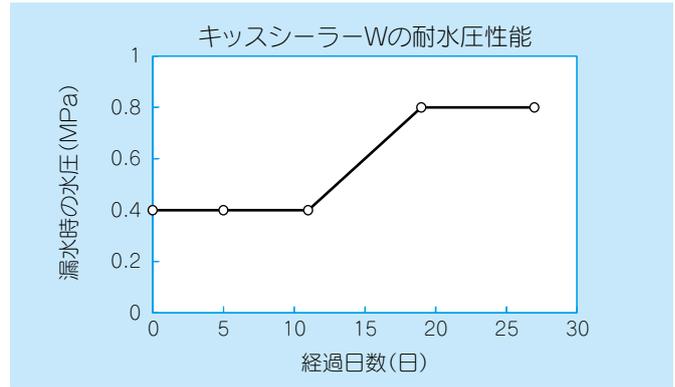
試験条件:水道水、温度23℃

供試体寸法:10×30×20(mm)

試験方法

- ・供試体を水中へ入れ測定開始
(事前に試験前の密度測定は行っておく)
- ・密度測定を行い膨潤率を算出する。

②耐水圧データ



耐水圧試験

試験条件:室温にて目開き無し(打ち継ぎを想定)

試験方法

- ①6×30×30(cm)のブロックにキッシーラーWを貼り付ける。
(ブロックの中心円となるように貼り付ける)
- ②中心に鋼管を立て生コン(厚10cm)を打設
- ③試験体を鉄板で挟み固定(図1)。
管に耐水圧試験機を付けて水圧を掛け、漏水を確認した一つ前の値を耐水圧とする。
- ④常に水があたるようにして数日間放置後、耐水圧試験を行う。

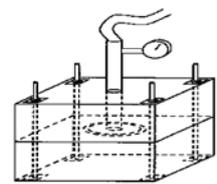
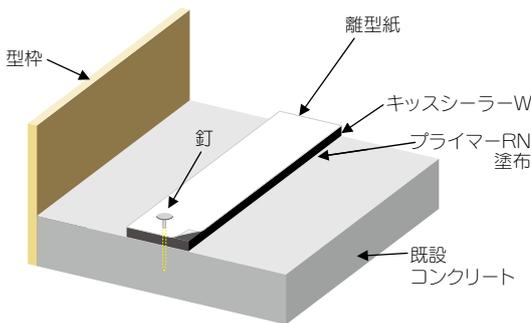


図1

施工方法 (基準例)



(1)下地処理

・接着させるコンクリート表面の油分、ゴミおよびノロを取り除く。

(2)プライマー・接着材塗布(下地の表面状態による)

- ①乾燥時:プライマーRNを塗布[塗布量0.3~0.4kg/m²]
- ②湿潤時:ポンドトップWG(A)又はエポパンド1CHを塗布し、硬化するまでに貼り付ける
[塗布量1.0~1.5kg/m²]。不陸調整の場合も同様の処理を行う。

(3)貼り付け

- ・圧着しながら接着し、更に固定する場合は釘止めする。
- ・継目処理は、斜め切断した端部を突き合せて接続する(標準)。

(4)コンクリート打設時

- ・生コン打設直前に、離型紙を剥がして、生コンを打設する。
- ※ゴミやホコリの付着等は生コンとの接着を阻害する。
- ※キッシーラーW設置後、コンクリート打設までの許容期間は、雨水の滞水を避ける事を条件に1ヵ月程度許容する。

継目処理



荷姿

| 形状寸法サイズ | ケース入数 |
|---------|---------------|
| 5×30 | 10m/巻×6本(60m) |
| 10×30 | 10m/巻×2本(20m) |

※上記以外のサイズに関しては、別途ご連絡下さい。



アオイ化学工業株式会社

本社/〒731-0141 広島市安佐南区相田1丁目1番26号 TEL(082)877-1341(代)

http://www.aoi-chemical.co.jp

FAX(082)879-7260

東北支店/TEL(022)384-3171(代) 広島工場/TEL(0826)46-3511(代)

FAX(022)382-1260

FAX(0826)46-2843

関東支店/TEL(03)3993-9311(代) 埼玉工場/TEL(048)584-2511(代)

FAX(03)3993-9315

FAX(048)584-2510

北陸支店/TEL(025)280-0131(代) 北京支社/TEL +86(10)-65584184

FAX(025)281-8338

アオイテクノサービス(株)/TEL(082)877-0017(代)

中部支店/TEL(052)332-5611(代) アオイコーポレーション(株)/TEL(082)877-7336(代)

FAX(052)332-5615

アオイドリーム(株)/TEL(082)831-1345(代)

近畿支店/TEL(06)6631-2060(代) 台湾/奥徳化学建材股份有限公司

FAX(06)6631-2170

シンガポール/AOI KAGAKU(SINGAPORE)

中四国支店/TEL(082)877-7171(代) PTE.LTD.

FAX(082)877-5280

TEL(65)6659-1137(代)

九州支店/TEL(092)623-5556(代)

FAX(092)623-5559

北海道営業所/TEL(011)598-1151(代)

FAX(011)598-1553